

[091_03] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/7329595>

出版情報：法政研究. 91 (3), 2024-12-18. Hosei Gakkai (Institute for Law and Politics) Kyushu University

バージョン：

権利関係：



七戸克彦 教授 著作目録

【著書】

〔単著〕

- 『土地家屋調査士講義ノート』 日本加除出版 2010年
- 『(ライブラリ法学基本講義 4-I) 基本講義・物権法 I 総論・占有権・所有権・用益物権』 新世社 2013年
- 『不動産登記法案内』 勁草書房 2014年
- 『(ライブラリ法学基本講義 4-II) 基本講義・物権法 II 担保物権』 新世社 2014年
- 『新旧対照解説：改正民法・不動産登記法』 ぎょうせい 2021年
- 『論点解説：改正民法・不動産登記法——法・政令・規則の考え方と対応』 ぎょうせい 2024年

〔共著〕

- 千葉恵美子＝藤原正則＝七戸克彦『アルマ民法 2 物権』
有斐閣 2002年、〔第 2 版〕2005年、〔第 2 版補訂版〕
2008年、〔第 3 版〕2018年、〔第 4 版〕2022年
- 七戸克彦＝小池泰＝園田彩乃『新旧対照：家族法——令和 6 年までの重要改正と実務ポイント』 ぎょうせい 2024年

〔監修・編著〕

- 瀬川信久＝七戸克彦＝小林量＝山本和彦＝山田文＝永石一郎＝亀井尚也（共編著）
『事例研究・民事法』 日本評論社 2008年
- 七戸克彦（編著）『民事信託の理論と実践』 福岡県司法書士会 2011年
- 七戸克彦（監修・著）／日本司法書士会連合会＝日本土地家屋調査士会連合会（共編）
『条解不動産登記法』 弘文堂 2013年
- 瀬川信久＝七戸克彦＝山野日章夫＝小林量＝山本和彦＝山田文＝杉山悦子＝永石一郎＝亀井尚也（共編著）『事例研究・民事法〔第 2 版〕 I・II』 日本評論社 2013年

〔分担執筆〕

- 川井健＝鎌田薫（編）『（現代青林講義）物権法・担保物権法』 青林書院 1999年
- 川井健＝鎌田薫＝金山直樹（編著）『新判例マニュアル・民法III（債権総論）』
三省堂 2000年
- 佐藤幸治＝藤田宙靖＝長尾龍一＝淡路剛久＝奥島孝康＝村井敏邦＝寺田逸郎（編集代表）『コンサイス法律用語辞典』 三省堂 2003年
- 池田真朗（編著）『現代民法用語辞典』 税務経理研究会 2008年
- Angelos N. FINDIKAKIS and Kuniaki SATO [ed.], *Groundwater management practices*.
IAHR monograph series, CRC Press/Balkema 2011年
- 千葉恵美子＝潮見佳男＝片山直也（編）『Law Practice民法 I 総則・物権編』
商事法務 2009年〔第2版〕2014年〔第3版〕2017年〔第4版〕2018年
- 松本恒雄＝潮見佳男（編）『判例プラクティス民法 I（総則・物権）』
信山社 2010年
- 堀口健治（編著）『再生可能資源と役立つ市場取引』 御茶の水書房 2014年
- 田山輝明＝澤野順彦＝野澤正充（編）『新基本法コンメンタール借地借家法』
日本評論社 2014年〔第2版〕2019年〔第3版〕2025年
- 松岡久和＝山野目章夫（編）『新・判例ハンドブック【物権法】』
日本評論社 2015年
- 後藤巻則＝滝沢昌彦＝片山直也（編）『プロセス講義民法Ⅱ物権』 信山社 2019年
- 鎌田薫＝松岡久和＝松尾弘（編）『新基本法コンメンタール物権』
日本評論社 2020年
- 佐久間毅＝松岡久和（編）『判例講義民法 I 総則・物権〔第3版〕』
勁草書房 2024年

〔分担翻訳〕

- クラウス－ウィルヘルム・カナリス（著）／木村弘之亮（代表訳）『法律学における体系思考と体系概念——価値判断法学とトピック法学の架け橋』
慶応義塾大学出版会・慶応義塾大学法学研究会叢書63 1996年

【論文】

〔民法〕

- 「不動産物権変動における対抗力の本質——ボワソナードを起点として」
慶大院法学研究科論文集23号 1986年
- 「不動産物権変動における意思主義の本質——売買契約を中心として」
慶大院法学研究科論文集24号 1986年
- 「我が国における『物権的請求権』概念の推移——旧民法から現行民法に至るまで」
慶大院法学研究科論文集25号 1997年
- 「『対抗』のフランス法的理解——不動産物権を中心に」
慶大院法学研究科論文集26号 1987年
- 「所有権証明の困難性（いわゆる『悪魔の証明』）について——所有権保護をめぐる実体法と訴訟法の交錯」
慶大院法学研究科論文集27号 1988年
- 「登記の推定力——比較法的考察（1）～（3・完）」
法学研究（慶大）62巻11号、63巻1号、3号 1988～1989年
- 「ドイツ民法における不動産譲渡契約の要式性——『ドイツ法主義』の理解のために」
法学研究（慶大）62巻12号 1988年
- 「物権法定主義——比較法的・沿革的考察」『慶応義塾大学法学部法律学科開設百年記念論文集（法律学科篇）』
慶応義塾大学法学部 1990年
- 「（紹介と批評）マルク・レヴィス著『物権の対抗可能性——権利の裁判上の制裁について』」
法学研究（慶大）64巻2号 1991年
- 「対抗要件主義に関するボワソナード理論」 法学研究（慶大）64巻12号 1991年
- 「新『借地借家法』の基本視点——『賃借権の物権化』との関係で」
自由と正義43巻5号 1992年
- 「（紹介と批評）カトリーヌ・テレーズ・バロー＝サリュエ著『法定公示——公の情報と行為の証明』」
法学研究（慶大）65巻10号 1992年
- 「意思主義の今日的妥当性——とくに証拠保全との関係で」半田正夫教授還暦記念論集『民法と著作権法の諸問題』
法学書院 1993年
- 「（紹介と批評）鷹巢信孝著『物権変動論の法理的検討』」
法学研究（慶大）68巻5号 1995年

- 「借地上建物の賃借人の保護」澤野順彦＝丸山英気＝内田勝一（編）『借地借家法の理論と実務』 有斐閣 1997年
- 「（紹介と批評）藤原明久著『ボワソナード抵当法の研究』」
法学研究（慶大）70巻4号 1997年
- 「（特集：民法総則でつまずくな！）物——民法総則の第3章では何が規定されているのか」
法学セミナー520号 1998年
- 「遺贈と登記」鎌田薫＝寺田逸郎＝小池信行（編）『新不動産登記講座2 総論II』
日本評論社 1998年
- 「『法源』としてのボワソナード民法典——物権変動を素材として」
法律時報70巻9号 1998年
- 「（紹介と批評）ハンス・ペーター・マルチュケ著『日本不動産物権法における物権移転と善意取得——日本・フランス・ドイツの契約法及び不動産法に関する比較法的考察』」
法学研究（慶大）72巻3号 1999年
- 「（特集・民法・時効の基礎と応用）取得時効の要件と効果（基礎・応用）」
法学教室225号 1999年
- 「（紹介と批評）田中淳子著『相続と登記（物権法研究I）』」
法学研究（慶大）72巻10号 1999年
- 「日本における登記制度と公証制度（の機能不全）」
法学研究（慶大）72巻12号 1999年
- 「鳩山秀夫『不動産物権変動の得喪変更に関する公信主義及び公示主義を論ず』・川井健『不動産物権変動の公示と公信』」加藤雅信（編集代表）『（日本民法施行100年記念）民法学説百年史』 三省堂 1999年
- 「所有権の『絶対性』概念の混迷——とくに物権の性質論・物権の請求権論・物権変動論における」山内進（編著）『混沌のなかの所有』 国際書院 2000年
- 「登記申請のオンライン化に対する若干の提言・要望」 登記情報494号 2003年
- 「予告登記の廃止」 登記情報501号 2003年
- 「不動産登記法の改正——その物権変動論に及ぼす影響について」
登記情報502号 2003年

「不動産登記のオンライン申請と真实性の確保」	マンション学18号	2004年
「新『不動産登記法』の運用に向けて」	登記情報512号	2004年
「共有者の一人による不実登記の抹消登記請求——最（2小）判平成15年7月11日の検討（1）～（2・完）」	民商法雑誌131巻2号、3号	2004年
「新『不動産登記法』の制定と司法書士の役割」	法政研究71巻3号	2005年
「新『不動産登記法』の制定と土地家屋調査士の役割」	マンション学21号	2005年
「新『不動産登記法』におけるオンライン申請制度の概要」日本土地法学会（編）＝長崎大学経済学部100周年記念共催『転機に立つアジアの土地法』	有斐閣・土地問題双書36	2005年
「新不動産登記法に関する平成17年改正」	市民と法34号	2005年
「改正不動産登記法についてⅡ」	司法書士論叢THINK103号	2005年
「公共嘱託登記司法書士協会の課題と展望」	法政研究72巻3号	2006年
「不動産登記手続のオンライン利用促進に向けて」	司法書士論叢THINK104号	2006年
「電子申請の利用率低迷とその改善策」	月報司法書士409号	2006年
「貸賃人たる地位の移転の法律構成——『状態債務関係』論・『賃借権の物権化』論・『法定債務引受』論の再検討」稲本洋之助先生古稀記念論文集『都市と土地利用』	日本評論社	2006年
「(特集：法学入門2006) 民法法入門・基本解説」	法学セミナー616号	2006年
「(情報スクランブル) 登記識別情報をめぐる『都市伝説』数題」	土地家屋調査士592号	2006年
「(土地家屋調査士のための法律学(1)～(8・完))」	土地家屋調査士598号、599号、603号、604号、605号、606号、607号、608号	2006～2007年
「遺産分割の対象財産——最判平17・9・8とその限界」	市民と法43号	2007年
「不動産登記の電子申請——利用率向上策の現状と課題」	月報司法書士421号	2007年
「不動産登記の電子化小史」福岡県土地家屋調査士会「ふくおか会報」111号		2007年

- 「不動産物権変動における公示の原則の動揺・補遺（1）～（10・完）」
 民事研修604号、605号、606号、607号、608号、
 609号、610号、611号、612号、613号 2007～2008年
- 「民法177条の『第三者』——背信的悪意者」内田貴＝大村敦志（編）『民法の争点（ジュリスト増刊「新・法律学の争点シリーズ1」）』 有斐閣 2007年
- 「今後の司法書士の業務展開の方向性」 市民と法50号 2008年
- 「中間省略登記の代替手段について」 マンション学30号 2008年
- 「民法改正の手法・手続」椿寿夫＝新美育文＝平野裕之＝河野玄逸（編）『民法改正を考える（法律時報増刊）』 日本評論社 2008年
- 「物権法定主義についてどう考えるか」椿寿夫＝新美育文＝平野裕之＝河野玄逸（編）『民法改正を考える（法律時報増刊）』 日本評論社 2008年
- 「民法94条2項の類推適用に関する判例の表現について——『類推適用』と『法意』の異同問題を基点として」慶応義塾大学法学部（編）『（慶応義塾創立150周年法学部記念論文集）慶応の法律学・民事法』 慶応義塾大学出版会 2008年
- 「不動産登記制度の未来——あるいは土地家屋調査士の未来について」
 愛知県土地家屋調査士会会報「地図読み人」212号 2008年
- 「信託法上の信託か、信託類似の他の法律関係か——『信託』概念の全容と信託の成立認定」 法学研究（慶大）82巻1号 2009年
- 「後継ぎ遺贈の目的および法的構成について——後継ぎ遺贈型受益者連続信託との『使い分け』に向けて」 司法書士論叢THINK107号 2009年
- 「不動産登記業務における司法書士の専門家責任をめぐる近時の動向（特集：不動産取引と司法書士業務の展望）」 市民と法58号 2009年
- 「土地家屋調査士の倫理」福岡県土地家屋調査士会「ふくおか会報」115号 2010年
- 「今後の公共嘱託登記土地家屋調査士協会のあり方」村田博史（監修）＝日本土地家屋調査士連合会研究所（編）『土地家屋調査士の業務と制度〔第2版〕』三省堂 2010年
- 「土地家屋調査士法の改正問題について」
 福岡県土地家屋調査士会「ふくおか会報」116号 2011年
- 「近時の司法書士懲戒事例の傾向分析」 月報司法書士476号 2011年

- 「土地家屋調査士会ADRの現状（特集：ADRに思いを寄せて——土地家屋調査士の取組み）」 土地家屋調査士659号 2011年
- 「所有権証明情報の不備を理由に表題登記の申請が却下された例」 福岡県土地家屋調査士会「ふくおか会報」117号 2012年
- 「土地家屋調査士会ADRの将来（特集：ADRに思いを寄せて——土地家屋調査士の取組み）」 土地家屋調査士660号 2012年
- 「不動産の二重譲渡における第三者の悪意（破毀院第3民事部1968年3月22日判決）」松川正毅＝金山直樹＝横山美夏＝森山浩江＝香川崇（編）『判例にみるフランス民法の軌跡』 法律文化社 2012年
- 「所有権の証明方法——相対的証明（破毀院民事部1927年3月27日判決）」松川正毅＝金山直樹＝横山美夏＝森山浩江＝香川崇（編）『判例にみるフランス民法の軌跡』 法律文化社 2012年
- 「平成24年の土地家屋調査士関係判例」 福岡県土地家屋調査士会「ふくおか会報」118号 2013年
- 「時効援用の信義則違反・濫用法理の問題性」森征一＝池田真朗（編）『（内池慶四郎先生追悼論文集）私権の創設とその展開』 慶応義塾大学出版会 2013年
- 「東京・銀座の地番未定地について」 福岡県土地家屋調査士会「ふくおか会報」119号 2014年
- 「司法書士の現状と今後のあり方」 市民と法85号 2014年
- 「印鑑とは何か」 福岡県土地家屋調査士会「ふくおか会報」120号 2015年
- 「相続と登記——物権変動の一般理論の試金石としての」 月報司法書士521号 2015年
- 「『建物』と『家屋』」 福岡県土地家屋調査士会「ふくおか会報」121号 2016年
- 「司法書士の業務範囲（1）～（6・完）」 市民と法98号、99号、100号、101号、102号、103号 2016～2017年
- 「司法書士の会員数問題と今そこにある危機」 月報司法書士546号 2017年
- 「（法窓一言）民法（相続関係）改正における『相続と登記』」 登記情報681号 2018年

- 「債務整理と和解——①名古屋高金沢支判平27・11・25、②最一小判平29・7・24の背景事情（1）～（3・完）」 市民と法109号、110号、111号 2018年
- 「正当事由と立退料の今日的課題」澤野順彦（編）『不動産法論点大系』
民法法研究会 2018年
- 「相続と登記——民法改正（新設）899条の2をめぐって」
法政研究85巻3・4号 2019年
- 「相続と登記をめぐる課題——民法改正（新設）899条の2をめぐって（特集：相続と土地法をめぐる現代的課題）」 市民と法116号 2019年
- 「不動産登記の真实性担保手段——旧登記法から資格者代理人方式まで（小特集：不動産登記の真正の担保——日本登記法研究会第3回研究大会）」
法律時報91巻4号 2019年
- 「所有者不明土地問題に係る民法・不動産登記法改正の議論を追う（上）（下）」
市民と法119号、120号 2019年
- 「配偶者居住権——ある皮肉な物語」 法政研究86巻3号 2019年
- 「配偶者居住権を論じて所有者不明土地問題に係る民法・不動産登記法改正に及ぶ（小特集：民法改正と不動産登記——日本登記法学会第4回研究大会）」
法律時報92巻5号 2020年
- 「民法899条の2をめぐって（1）～（3・完）」
法政研究87巻1号、2号、4号 2020～2021年
- 「2016年フランス民法改正と物権変動論」 法政研究87巻3号 2020年
- 「司法書士法改正の意義」 埼玉司法書士会会報79号 2020年
- 「『民事信託』『家族信託』裁判例概観」 家族信託実務ガイド18号 2020年
- 「不動産登記手続と印鑑証明・電子証明（特集：印鑑のゆくえ）」
月報司法書士588号 2021年
- 「取得時効と登記に関する基礎的考察——判例理論の再検討」松久三四彦先生古稀記念『時効・民事法制度の新展開』 信山社 2022年
- 「デジタル社会における商業登記理論と不動産登記理論の交錯（小特集：デジタル社会と登記——日本登記法学会第6回研究大会）」 法律時報94巻9号 2022年
- 「相続放棄・事実上の相続放棄の法律問題」 法政研究89巻3号 2022年

- 「変わりゆく立会業務——日本型エスクローの可能性について」
 司法書士論叢THINK121号 2023年
- 「司法書士の懲戒制度の変遷と最近の懲戒処分の傾向」
 月報司法書士618号 2023年
- 「区分所有法17条と令和3年民法（所有者不明土地関係）改正」鎌野邦樹先生古稀
 記念論文集『マンション区分所有法の課題と展開』 日本評論社 2023年
- 「特別受益の持戻し免除の意思表示——民法903条3項・4項に関する一考察」
 法政研究90巻3号 2023年
- 「永代借地権の取引をめぐる」
 市民と法150号 2024年

〔民法学史・法史学〕

- 「旧民法・現行民法の条文対照——付・条文対照表（旧民法財産編総則・物権部）」
 法学研究（慶大）69巻1号 1996年
- 「旧民法・現行民法の条文対照表——旧民法財産編総則・物権部（1）～（3・完）」
 法学研究（慶大）69巻9号、10号、11号 1996年
- 「（特集：民法100年と梅謙次郎）外国法学説の影響」法律時報70巻7号 1998年
 大久保泰甫＝七戸克彦「『プロジェ初版』について」ボワソナード民法典研究会（編）
 『（ボワソナード民法典資料集成・前期I）G. BOISSONADE, *Projet de Code civil pour
 le (l'Empire du) Japon accompagné d'un commentaire*. [Première édition] Tomes
 1-3. Tokio, 1880, 1882』 雄松堂出版 1999年
- 「（紹介と批評）大久保泰甫＝高橋良彰『ボワソナード民法典の編纂』」
 法学研究（慶大）72巻8号 1999年
- 「『註釈民法草案』について」ボワソナード民法典研究会（編）『（ボワソナード民法
 典資料集成・前期I）ボワソナード氏起稿・註釈民法草案（財産編・第1巻）』
 雄松堂出版 1999年
- 池田真朗＝七戸克彦「『再閣修正民法草案註釈』について」ボワソナード民法典研
 究会（編）『（ボワソナード民法資料集成・後期I-II）ボワソナード氏起稿・再閣修
 正民法草案註釈・I（第2編・物権ノ部）』 雄松堂出版 2000年

- 前田達明=七戸克彦『民法理由書』について』ボワソナード民法典研究会（編）『ボワソナード民法資料集成・第2期・後期IV）民法理由書（第1巻）』
雄松堂出版 2001年
- 「起草者意思の源流——富井政章『民法論綱』復刻に寄せて」
新青通信6号（富井政章『民法論綱（人権之部上・下）（財産取得編上・中）』（新青出版復刻版） 栞 2001年
- 「仏文草案手稿——草案内容の概括的比較」ボワソナード民法典研究会（編）『ボワソナード民法資料集成II・後期I）G. BOISSONADE, *Projet de Code civil*, tome IV et V (textes et commentaire), manuscrit』
雄松堂出版 2005年
- 「法典調査会の構成メンバー——その人選に関する『政策評価』」
ジュリスト1331号 2007年
- 「（民法学の人物伝） 鷗外と民法典の起草者たち」 法学セミナー652号 2009年
- 「（文庫・新書で読む民事法学の世界）『舞姫』を民法学的に読む」
法学セミナー652号 2009年
- 「現行民法典を創った人びと（1）～（30・完）」
法学セミナー653号、654号、655号、656号、657号、658号、
659号、660号、661号、662号、663号、664号、665号、666号、
667号、668号、669号、670号、671号、672号、673号、674号、
675号、676号、677号、678号、679号、680号、681号、682号 2009～2011年
- 「旧・外地裁判所判例の今日的意義・序論——活きている台湾高等法院・関東高等法院・朝鮮高等法院判決」
法政研究79巻3号 2012年
- 「法学者の軽井沢」
法政研究81巻3号 2014年
- 「九州帝国大学法文学部内訌事件——東京帝国大学・京都帝国大学の内紛・辞職事例との比較」
法政研究81巻4号 2015年
- 「末弘厳太郎の青春——新渡戸稲造一高校長排斥事件の煽動者」
法政研究82巻2・3号 2015年
- 「（法学者の本棚）金田一他人『身も魂も——金田一他人遺稿』／我妻栄の青春」
法学セミナー735号 2016年

- 「山田喜之助・正三・作之助・弘之助——神戸学院大学・山田作之助関係資料に寄せて」
神戸学院法学46巻2号 2016年
- 「梅謙次郎の子供たち」
法政研究83巻3号 2016年
- 「『ここはロードス、ここで跳べ』と『ここに薔薇あり、ここで踊れ』について」
月報司法書士536号 2016年
- 「皇位継承と改元に関する若干の覚書」
福岡県土地家屋調査士会「ふくおか会報」122号 2017年
- 「九州帝国大学法文学部と吉野作造——九州帝国大学法文学部内証事件の調停者（1）～（2・完）」
法政研究83巻4号、84巻1号 2017年
- 「末弘厳太郎責任編輯『現代法学全集』の研究」
法政研究85巻1号 2018年
- 「末弘厳太郎研究資料総覧」
法政研究85巻1号 2018年
- 小野翠＝七戸克彦「内子町・重岡薫五郎関係資料」
法政研究85巻1号 2018年
- 「『法政研究』別冊の話」
（法政研究別冊）学生法政論集12号 2018年
- 「日本評論社初代社長・茅原茂と第二代社長・鈴木利貞について（1）～（2・完）」
法政研究85巻2号、86巻1号 2018～2019年
- 「日本評論社・旧社時代出版目録（1）～（3・完）」
法政研究85巻2号、86巻1号、2号 2018～2019年
- 「我妻栄の青春（1）～（9・完）」
法政研究88巻1号、2号、3号、4号、
89巻1号、2号、4号、90巻1号、2号 2021～2023年
- 「鳩山秀夫——人と業績（1）～（2・完）」
法政研究90巻4号、91巻1・2号 2024年
- 「法典調査会」岩谷十郎＝松園潤一朗＝高田久実（編著）『よくわかる日本法制史』
ミネルヴァ書房 2025年

〔水法〕

- 「農業用水の『転用』手続をめぐる法律問題——河川法2条2項・34条の解釈を中心に」
法学研究（慶大）70巻12号 1997年

- 「水法における公法と私法——民法における水法関係規定を中心に（１）～（２・完）」
 法学研究（慶大）71巻11号、12号 1998年
- 「（第6回水資源に関するシンポジウム・パネルトーク：21世紀の水問題——そのブレークスルーは可能か？）水をめぐる日本の法制度の現状と課題」
 水登ともに（水資源開発公団）466号 2002年
- 「（第6回水資源に関するシンポジウム・パネルトーク：21世紀の水問題——そのブレークスルーは可能か？）水をめぐる日本の法制度の現状と課題」
 水道公論38巻12号 2002年
- 「現代の水利権をめぐる諸問題」季刊・河川レビュー123号（2003年秋季号） 2003年
- 「海面下の土地所有権に関する最近の裁判例について（上）（中）（下）」
 日本エネルギー法研究所月報163号、165号、166号 2003～2004年
- 「水資源の分配に関する法制度——その歴史と現状（特集：都市と水資源の確保）」
 都市問題研究61巻7号（通巻703号） 2009年
- 「わが国の水利権をめぐる新たな問題状況について」
 公営企業497号（42巻5号） 2010年
- 「（地籍学の法的側面・技術的側面について・第3回）地籍学と水」
 土地家屋調査士658号 2011年
- 「河川区域内の土地の滅失の登記」
 法政研究78巻3号 2011年
- 「平成期河川立法・行政・司法の回顧（１）～（２・完）」
 法政研究86巻2号、4号 2019～2020年
- 「（書評）松本充郎（著）『日米の流域管理法制における持続可能性への挑戦——日米水法の比較法的研究』」
 法政研究88巻2号 2021年
- 「水資源の公平分配と安定的利用——とくに水道事業の民営化に焦点を当てて（特集：『欠乏』の時代を考える）」
 法律時報96巻2号 2024年
- 「海面下の土地と私的所有権の成立」
 区画整理士会報228号 2024年

【判例評釈】

- 坂原正夫＝七戸克彦「1.『顕著ナル事実』か否かは事実問題か。2.『顕著ナル事実』の反証の不採用と上告理由」
 法学研究（慶大）56巻12号 1983年

斎藤和夫=七戸克彦「当事者の申し立てない事項について裁判したことに当たらない一事例」
法学研究（慶大）57巻6号 1984年

「民法177条の物権変動の範囲」

『民法判例百選I総則・物権〔第4版〕』（別冊ジュリスト136号）1996年、〔第5版〕（別冊ジュリスト159号）2001年、〔第5版新法対応補正版〕（別冊ジュリスト175号）2005年、〔第6版〕（別冊ジュリスト195号）2009年、〔第7版〕（別冊ジュリスト223号）2015年、〔第8版〕（別冊ジュリスト237号）2018年

「背信的悪意者からの転得者と民法177条の第三者」

民商法雑誌117巻1号 1997年

「弁済者代位における原債権・求償権の時効中断効・延長効」森泉章先生古希祝賀論集『現代判例民法学の理論と展望』
法学書院 1998年

「不動産登記と民法94条2項——94条2項類推適用法理・虚偽表示の撤回・94条2項と177条の関係」平井宜雄（編）『民法の基本判例〔第2版〕』
有斐閣 1999年

「未登記抵当権者の相続財産法人に対する登記請求」

民商法雑誌121巻4・5号 2000年

「競売により取得した土地に公法上の規制が存在していた場合に、民法568条及び566条を類推適用して買受人の代金減額請求を認めた事例」

判例評論542号（判例時報1846号） 2004年

「不動産共有者の一人による単独での持分移転登記抹消登記手続請求」

『平成15年度重要判例解説』（ジュリスト臨時増刊1269号） 2004年

「中間省略相続登記に対する更正登記の限界」民商法雑誌135巻2号 2006年

「公有水面埋立法に基づく埋立免許を受けて埋立工事が完成した後竣功認可がされていない埋立地が私法上所有権の客体になる場合」

判例評論574号（判例時報1944号） 2006年

「中間省略相続登記が実体関係と合致しない場合の更正登記の可否」

法政研究73巻4号 2007年

「商標権の譲渡行為と詐害行為（最判平13.11.16）」山野日章夫=廣渡鉄（監修）『企業法務判例ケーススタディ300企業取引・知的財産編』

金融財政事情研究会 2007年

- 「共同相続と登記」『家族法判例百選〔第7版〕』（別冊ジュリスト193号） 2008年
「遺産分割調停における固有財産譲渡についての登記原因」
民商法雑誌141巻1号 2009年
- 「抹消予告登記のある不動産の登記名義人から根抵当の設定を受けた第三者と民法
94条2項の類推適用」 私法判例リマークス41号 2010年
「抹消登記請求に対し、原告の持分の限りでの更正登記を命じた事例」
速報判例解説7号 2010年
- 「真正な登記名義の回復を原因とする中間省略登記請求の可否（消極）」
『判例セレクト2011〔I〕』（法学教室377号別冊付録） 2012年
『判例セレクト2009-2013〔I〕』 有斐閣 2015年
- 「共有者の一人による不実登記の抹消手続請求」『民法判例百選I総則・物権〔第7
版〕』（別冊ジュリスト223号）2015年、〔第8版〕（別冊ジュリスト237号）2018年
「権利能力なき社団の財産の帰属と登記名義」
『判例セレクト2014〔I〕』（法学教室413号別冊付録） 2015年
- 「区分所有部分に登記のない1棟の建物全部について賃借権設定登記がされた場合
の抹消登記請求」鎌野邦樹＝花房博文＝山野目章夫（編）『マンション法の判例解説』
勁草書房 2017年
- 「司法書士の代理権の範囲を超えて行われた過払金返還債権に係る和解の効力」①
名古屋高金沢支判平27・11・25、②最一小判平29・7・24」
現代消費者法36号 2017年
- 「理事の互選により選出されたマンション管理組合の理事長の理事の過半数による
解任」 私法判例リマークス58号 2019年
- 「マンション管理組合の理事長を理事の過半数の一致により解職できるとした事
例」『平成30年度重要判例解説』（ジュリスト臨時増刊） 2019年
- 「司法書士の不動産登記申請業務における注意義務」
民商法雑誌157巻2号 2021年
- 「外貨両替機の管理運営委託契約における金銭所有権の帰属と信託の認定」
私法判例リマークス69号 2024年

「不動産登記簿に表題部所有者および所有権の登記名義人の記載がない土地につき、
国を被告として提起された所有権確認の訴えの確認の利益（消極）」

新・判例解説Watch35号 2024年

「1筆の土地の一部の取得と処分禁止の仮処分」 民商法雑誌160巻4号 2024年

【学会報告・座談会等】

「不動産物権変動における対抗要件主義の構造」 私法53号 1991年

「民法学の過去・現在・未来」研究会（金山直樹＝松岡久和＝七戸克彦）「物権変動論の最前線——不動産の二重譲渡問題を中心に」 姫路法学20号 1996年

「（特別企画：インターカレッジ民法討論会）債権の二重譲渡と物権の二重譲渡はどこが違う？」 法学セミナー515号 1997年

金山直樹＝松岡久和＝七戸克彦「（特集：民法総則でつまずくな！）民法、こんなに楽勝でいいんですか？」 法学セミナー520号 1998年

「民法施行100周年記念シンポジウム（『物権変動理論と公示制度の現実』パネル討論会）」 司法書士論叢THINK95号 1999年

「民法施行100周年記念座談会」 司法書士論叢THINK95号 1999年

「不動産登記法施行100周年記念シンポジウム：日本の不動産登記制度はこれでよいのか」 司法書士論叢THINK96号 2000年

「（拡大ワークショップ）不動産登記法の改正——その物権変動に及ぼす影響について」 私法66号 2004年

「（第10回インターカレッジ民法討論会・教員討論）賃貸人が目的物を第三者に譲渡した場合の法律関係」 法学セミナー600号 2004年

「（シンポジウム）民活・電子化とこれからの公共嘱託登記」公共嘱託登記司法書士協会創立20周年記念誌『官から民へ』

全国公共嘱託登記司法書士協会協議会 2005年

「日本不動産学会秋季全国大会シンポジウム」 土地家屋調査士587号 2005年

「（第11回インターカレッジ民法討論会）公道に至るための他の土地の通行権【第1部】出題と解説」 法学セミナー612号 2005年

「(平成17年度(社団法人)日本不動産学会・秋季全国大会シンポジウム)土地基本
法情報整備の新たな段階——平成地籍整備と境界」

日本不動産学会誌74号(19巻3号) 2006年

「(特別企画:第12回インターカレッジ民法討論会)【第4部】白熱!教員討論」

法学セミナー621号 2006年

「(2006年度九州法学会学術大会レポート)シンポジウム『新不動産登記法の理念と
運用上の問題点』」

土地家屋調査士596号 2006年

「(シンポジウム)新不動産登記法の理念と運用上の問題点」

九州法学会会報2006年 2007年

「(特別企画:第13回インターカレッジ民法討論会)【第4部】白熱!教員討論」

法学セミナー633号 2007年

「(特別企画:第14回インターカレッジ民法討論会)【第4部】白熱!教員討論」

法学セミナー645号 2008年

「(講演)司法書士と倫理」『関東ブロック司法書士会協議会平成20年度会員研修会
記録(倫理研修)』

関東ブロック司法書士会協議会 2009年

「(シンポジウム)日本民法典財産編の改正」

私法71号 2009年

「(第37回全青司大阪全国研修会第7分科会パネルディスカッション)司法書士・
立会業務のパラダイムシフト」

群馬司法書士会会報「執務現場から」41号 2009年

「(特別企画:第15回インターカレッジ民法討論会)【第4部】白熱!教員討論」

法学セミナー657号 2009年

「(特別企画:第16回インターカレッジ民法討論会)【第3部】白熱!教員討論」

法学セミナー667号 2010年

加藤俊明=レビン小林久子=七戸克彦「(鼎談)司法書士ADRとメデイエーション
モデルの展望」

市民と法71号 2011年

「(特別企画:第17回インターカレッジ民法討論会)【第3部】白熱!教員討論」

法学セミナー679号 2011年

「(特別企画:第18回インターカレッジ民法討論会)【第3部】白熱!教員討論」

法学セミナー693号 2012年

- 「(特別企画：第19回インターカレッジ民法討論会)〔第3部〕白熱!教員討論」
 法学セミナー703号 2013年
- 「(ほっかいどう地図・境界シンポジウム2013)境界紛争と土地家屋調査士の役割」
 土地家屋調査士さっぽろ(札調)233号 2014年
- 「(特別企画：第20回インターカレッジ民法討論会)〔第3部〕白熱!教員討論」
 法学セミナー715号 2014年
- 「(特別企画：第21回インターカレッジ民法討論会)〔第3部〕白熱!教員討論」
 法学セミナー727号 2015年
- 「(特別企画：第22回インターカレッジ民法討論会)〔第3部〕白熱!教員討論」
 法学セミナー739号 2016年
- 「(特別企画：第23回インターカレッジ民法討論会)〔第3部〕白熱!教員討論」
 法学セミナー752号 2017年
- 「(特別企画：第24回インターカレッジ民法討論会)〔第3部〕白熱!教員討論」
 法学セミナー762号 2018年
- 「(特別企画・第25回インターカレッジ民法討論会)〔第3部〕白熱!教員討論」
 法学セミナー776号 2019年
- 「(特別企画・第26回インターカレッジ民法討論会)〔第4部〕教員討論」
 法学セミナー788号 2020年

【その他】

- 「法科大学院を歩く⑩九州大学法科大学院」 法学教室303号 2005年
- 「司法試験・法科大学院入試〔誌上答案練習会〕出題問題解説C(合格答案作成コース)民法」
 受験新報657号、658号、659号、660号、661号、662号、
 663号、664号、665号、666号、667号、668号、669号 2005～2006年
- 「新司法試験『プレテスト』問題を読んで〈民法〉」 受験新報659号 2006年
- 「(特別企画：ロースクール開校から2年を終えて)ロースクールの入学者数と修了者数」
 受験新報665号 2006年

- 「(特集：新司法試験問題の検討2006) 民事系科目試験問題」
 法学セミナー620号 2006年
 ……〔所収〕法学セミナー編集部(編)『(司法試験論文式過去問シリーズ)
 論文式試験の問題と解説民事編2006～2011年』日本評論社 2013年
 「(特集：検証新司法試験) IV 民事系科目(3)〔民法③〕——『バーチャル試験』
 を基に」 ロースクール研究3号 2006年
 「新旧司法試験・法科大学院入試〔誌上答案練習会〕出題問題解説Advanceコース
 民法」
 受験新報670号、671号、672号、673号、674号、
 675号、676号、677号、678号、679号、680号 2006～2007年
 「(特集：新司法試験問題の検討2007) 民事系科目試験問題」
 法学セミナー632号 2007年
 ……〔所収〕法学セミナー編集部(編)『(司法試験論文式過去問シリーズ)
 論文式試験の問題と解説民事編2006～2011年』日本評論社 2013年
 法学セミナー編集部(編)『(司法試験論文式過去問シリーズ)
 論文式試験の問題と解説民事編2007～2012年』日本評論社 2013年
 「全青司50周年に寄せて」全国青年司法書士協議会50周年記念誌『使命を胸に——
 青年司法書士の軌跡』 民事法研究会 2020年
 「(書評) 加藤新太郎＝山野日章夫＝鈴木龍介(編集代表)『実務に活かす判例登記
 法』」 登記情報715号 2021年